

令和7年度 シラバス

| | | | | | |
|--|---|-----|----|-----|----------------------|
| 教科名 | 地理歴史 | | | 教科書 | わたしたちの地理総合（二宮書店） |
| 科目名 | 地理総合 | | 必修 | 副教材 | わたしたちの地理総合 ワークブック |
| 履修学年 | 3 学年 | 単位数 | 2 | | |
| 科目の目標 | | | | | |
| <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> | | | | | |
| 観点 | 評価の観点の趣旨 | | | | |
| 知識 技能 | <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。</p> <p>(2) 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> | | | | |
| 思考 判断 表現 | <p>(1) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> | | | | |
| 主体的に学習に 取り組む態度 | <p>(1) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p> | | | | |
| 学習方法 | | | | | |
| <p>(1) ワーク（わたしたちの地理総合ワークブック）を定期的に提出して下さい。</p> <p>(2) 自分の考えを言ったり、他者の考えを聞いたりする場面を設けます。主体的に参加して下さい。</p> <p>(3) 適宜レポートの課題を課します。期日までに提出して下さい。</p> <p>(4) iPadを活用しての調べ学習を行います。</p> | | | | | |

内容のまとめりごとの評価規準

科目：地理総合

| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | |
|-------|----------------|---|--|--|-------|
| 1 | 地図とGISの活用 | <ul style="list-style-type: none"> さまざまな図法で描かれた世界地図の特徴を理解している。 時差の仕組みを理解し、世界の2地点間の時差を求めることができる。 外国で暮らす日本人や歴史的背景を通して、日本と諸外国との関係を理解している。 世界の地域経済圏や国際連合に関する知識を身につけ、地球規模の地域的な結びつきについて理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> 世界地図の図法の特徴を比較し、それぞれの特徴に適した用途があることを説明することができる。 日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察し、まとめることができる。 複数の主題図を比較し、主題によって、表現方法が異なることを説明することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 球体としての地球を把握し、さまざまな図法による世界地図の理解に向けて、作業などに意欲的に取り組もうとしている。 交通や通信の発達、観光政策、世界貿易に関する地球規模の課題について多面的・多角的に考察し、自分なりの意見をまとめようとしている。 | |
| 小単元等 | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 授業時間数 |
| (1) | 球面上の世界 | 小テスト | 小テスト | 振り返りシート 授業プリント ワークノート 他者と協同する姿勢 | 4 時間 |
| (2) | 国家の領域と領土問題 | 小テスト | 小テスト | | 2 時間 |
| (3) | 国内や国家間の結びつき | 調べ学習 | | | 3 時間 |
| (4) | 日常生活のさまざまな地図 | | グループワーク | | 3 時間 |
| (5) | 単元のまとめ | 1学期期末考査 | 1学期期末考査 | | 2 時間 |
| 14 時間 | | | | | |
| 2 | 生活文化の多様性と国際理解 | <ul style="list-style-type: none"> ケッペンの気候区分と植生分布の関連性を理解し、自然環境が人々の生活文化や産業、伝統の形成などに深く関わり、また諸要素が相互に関連しあっていることを理解している。 世界の多様性と日本とのつながりを考え、異文化を尊重する態度が重要であることを理解できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 世界の産業の特徴を地域ごとに比較し、自然環境や生活文化との関連性を考察している。 多文化共生社会に向けた事例について整理・考察し、まとめている。 地域統合やグローバル化について、主題図や写真などの複数の資料を関連させて多角的に考察している。 | <ul style="list-style-type: none"> 世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。 グローバル化が自分の生活と繋がっていることを踏まえて、グローバル社会に対する自分なりの意見をもとうとしている。 | |
| 小単元等 | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 授業時間数 |
| (1) | 自然環境と生活文化 | 小テスト | 小テスト | 振り返りシート 授業プリント ワークノート 他者と協同する姿勢 レポート | 8 時間 |
| (2) | 産業の発展と生活文化 | | ペアワーク | | 7 時間 |
| (3) | 言語・宗教と生活文化 | 調べ学習 | | | 9 時間 |
| (4) | グローバル化の進展と生活文化 | | グループワーク | | 6 時間 |
| (5) | 単元のまとめ | 2学期中間考査 2学期期末考査 | 2学期中間考査 2学期期末考査 | | 2 時間 |
| 32 時間 | | | | | |
| 3 | 地球的課題と国際協力 | <ul style="list-style-type: none"> 世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解できる。 都市問題を解決するための政策や科学技術の事例を調べ、整理できる。 身近な課題が地球規模で取り組むべきSDGsと関連していることを構造的に捉え、因果関係図を用い整理できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 途上国と先進国それぞれの都市問題について、その構造的要因を考察できる。 地球規模だけでなく、地域規模でも課題を構造的に捉え、複眼的に課題解決の方法を構想することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 未来を担う日本国民としての自覚を持ち、日本の将来像について意欲的に取り組もうとしている。 環境問題に関する資料を書籍や国際機関のウェブサイトなどから主体的に収集し、具体的な取り組みを構想し、実際に行動に移そうとしている。 | |
| 小単元等 | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 授業時間数 |
| (1) | 人口・食料問題 | | ペアワーク | 振り返りシート 授業プリント ワークノート 他者と協同する姿勢 レポート | 4 時間 |
| (2) | 居住・都市問題 | 調べ学習 | グループワーク | | 3 時間 |
| (3) | 資源・エネルギー問題 | | | | 3 時間 |
| (4) | 地球環境問題 | 調べ学習 | ペアワーク | | 4 時間 |
| (5) | 単元のまとめ | 学年末考査 | 学年末考査 | | 2 時間 |
| 16 時間 | | | | | |
| 4 | 生活圏の諸課題 | <ul style="list-style-type: none"> 日本列島の地形や気候の成り立ちと多様性について、主題図やグラフ、写真などの資料から理解できる。 調査結果や統計ツール、新旧地形図やデジタル地図、各種資料などを活用して、地域の特徴を主題図やグラフなどで表現する技能を身につけている。 生活圏の課題を解決するため地域調査を実施し、身近な地域の魅力やかかえている課題を発見している。 | <ul style="list-style-type: none"> 自らの生活圏の防災や減災について、新旧地形図やハザードマップ、GISなどを活用しながら考察し、具体的な課題と避難行動を構想することができる。 調査結果や統計ツール、新旧地形図やデジタル地図、各種資料などによって得られた結果を、多角的な視点から主題図やグラフにまとめ、考察している。 | <ul style="list-style-type: none"> 日本の自然環境と災害の特徴とつながりについて当事者として関心を持ち、防災意識を高めることができる。 身近な地域にさまざまな魅力や課題があることを見出し、意欲的に地域調査に取り組んでいる。 与えられた資料だけでなく、主体的かつ目的意識をもって資料やデータを収集し、考察しようとしている。 | |
| 小単元等 | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 授業時間数 |
| (1) | 自然環境と防災 | 調べ学習 | グループワーク | 振り返りシート 他者と協同する姿勢 | 3 時間 |
| (2) | 持続可能な地域づくり | 調べ学習 | グループワーク | | 3 時間 |
| (3) | 単元のまとめ | 調べ学習 | グループワーク | | 2 時間 |
| 合計時数 | | | | | 70 時間 |